


### 3 コミュニティネットワーク・宝（南区）

## 地域自主防犯活動活発化促進事業

### 実施結果報告書

1 団体名	コミュニティネットワーク・宝
2 事業名	新しい生活様式における子ども・女性（高齢者も含む）が安全に暮らせる地域づくり事業
3 事業実施結果	<p>数年前より地域で安心・安全に暮らせる活動を実施してきました。内容は特殊詐欺、侵入盗、交通安全と年齢、性別に関係なく安心・安全に暮らせるように、講演会、啓発運動、広報誌などを通じて広く地域に情報を発信してきました。</p> <p>今回は初めて子ども・女性に限定、さらにコロナ禍においての活動となり、かなり制約されるなか、こんな時代だから活動を実施することが大切と考えました。</p> <p>まずはコロナ禍においてどう活動するか？3密（密集、密接、密閉）を避ける、マスク着用、手指消毒をする。これを頭に入れて、どのような内容で実施するかを計画しました。</p> <p>犯罪はどんな時でもなくなる事はありません。人と接する機会が少なくなった時こそ活動を行うことが重要です。</p> <p>事業内容の柱としては、子ども・女性へのつきまとい、声かけ等の不審者対策に重点を置きました。</p> <p>まず子どもたちには、直接話をする事ができないため、学校を通じて冊子と啓発品を配布してもらい、各クラスで冊子の内容の抜粋を口頭で伝えてもらいました。</p> <div data-bbox="418 1588 841 1834" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>つ ついていかない          み みんなといつもいっしょ          き きちんとしらせる          お 大声でたすけをよぶ          に にげる</p> </div> <div data-bbox="847 1482 1377 1877" style="text-align: center;">  <p>冊子と啓発品（ミニタオル）</p> </div> <div data-bbox="793 1928 1195 2036" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>冊子は愛知県警作成。          南警察署生活安全課より提供</p> </div>

子どもたちと地域住民にむけた横断幕とプレートを作成しました。小学校と地域の方の門扉に掲示していただきました。



作成した横断幕・プレート



宝小学校には活動内容を説明させていただき、冊子の配布や横断幕等の設置に協力をいただきました。

(小学校の設置場所は、正門周辺。北側には養護学校正門と公園が隣接。トワイライトスクール入口がある西門。)

次におとなに向けての啓発活動について。大人数での講演会が開催できないことが最大の問題でした。学区内にある診療所が主催している朝の公園でのタオル体操に参加させていただき、ミニ講演会を開催しました。内容としては不審者情報、対処方法、さらに特殊詐欺、コロナ関係の話を幅広くしました。15分ではありましたが、皆さんには熱心に耳を傾けていただけたように感じました。



配布品 (チラシ4枚・マスク・ホイッスル)



10月12日開催

次に宝学区が主催している高齢者対象の「たからげんきサロン」での講演会開催。通常時は40名ほどのサロンですが、コロナ禍においては人数を半数以下にしての実施となりました。講演内容は体操サークルのものとはほぼ同じですが、屋内で着席してなので参加者の方とより近く、真剣に聞いていただけたと思えました。



少人数・マスク着用・手指消毒・  
換気を徹底して実施

最後に、初めに計画をしていた、商業施設での啓発運動ですが、密集、密接の可能性があるため許可できないとの返事がありました。学区内の郵便局をお願いをして、生活安全啓発運動を屋外で短時間実施することができました。12月の年金支給日に南警察署生活安全課の方にも朝9時から参加していただき実施しました。お一人お一人に啓発品を手渡ししながら、活動の内容を説明して犯罪抑制の運動を実施しました。

以上が今回の活動報告となります。



郵便局前での生活  
安全啓発運動

マスク着用で距離を  
とり実施



#### 4 成果と課題 及び今後の 取組み

##### (1) 事業実施の成果及び課題

今年度は行動の制約があり、今までと同じ活動ができませんでした。

おとなの方には、ミニ集会・講演会で特別な講師を呼ぶことなく、警察署の生活安全課の方に犯罪の現状、対処方法などを詳しく聞き、講話内容を作成し、皆さんの前で自分の言葉で話すことができたように思えます。今まで以上に近く皆さんを感じられました。現状を何度も伝えることがいかに大切かを感じました。

子どもに対しては、今年度学校に出向き直接話すことができなかったのは残念でしたが、愛知県警作成の冊子を配布し、家庭で親子の話し合いの機会を持つことができたのではないかと考えます。

(2) 今後の取組み

まだしばらく大きな集会は行えないと思われます。しかし犯罪は待ってくれません。継続して地道にサロンや体操サークル等に講話などの啓発運動を実施したいと思ひます。

犯罪に巻き込まれるのは子ども、女性だけではありません。すべての年齢層に伝わるような活動を行えればと思ひます。

活動の結果や内容をまとめた広報誌の発行をできるだけ早く実施したいです。